

加西市の商工業を守り地域を活性化させる取組



深田 照明 議員
(加西市民クラブ)



問 令和6年12月の加西商工会議所からの要望の主な事項は。

答 大きく2項目あり、一つ目は中小企業・小規模事業者対策への積極的な取組と円安・物価上昇の影響に対する事業所への支援、既存補助金の拡充などです。二つ目は産業・交通基盤の整備として県道6路線、国道372号線バイパス、市道修繕の推進です。

問 要望に対して具体的にどのように応えていくのか。

答 中小企業の経営安定化や地域活性化に向けて、長期的

かつ継続的に事業者の成長と発展を支援しています。令和7年度は主に、事業持続化のための販路開拓と業務効率化を支援する小規模事業者持続化支援補助金、中小企業等の経営効率化と生産性向上のためのデジタル活用事業を支援する新産業創出支援事業補助金の利用を進めています。

問 事業者からの相談について、商工会議所と市が日常的に協議や相談を行い、密接に連携しているのか。

答 商工会議所と市が連携して相談に当たるため、定期的に協議を行っています。相談内容は幅広く様々な対応が求められるため、相談ごとに情報共有し、協議の上、対応しています。

問 加西市ではどのような相談に対応しているのか。

答 産業課では市の産業振興奨励金制度に関する相談や、中小企業の設備投資に関して、固定資産税を軽減する先端設備導入制度に関する相談や問合せに対応しています。さらに企業立地に関する相談も関連部署と連携しながら対応しています。

意見 加西商工会議所と加西市がより連携を深め、全ての事業者を守る体制をより確実なものにすること。また、加西市が事業者を全力で守っていくという強い意思をもっとPRすることにより、加西市での起業や企業誘致が進むことを期待します。

■その他の質問項目

- ・プライバシーを守る避難所備蓄品と補充体制について
- ・ふるさと納税事業の現状と将来予測

加西市の進む姿を問う



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)



問 総合運動公園整備を決定するに至った経緯は。

答 平成18年1月に陸上競技場兼サッカー場の早期整備の要望書が提出されました。また、基本構想・基本計画策定に当たって実施した市民アンケートやスポーツ推進審議会を通じ、多様なスポーツを行う場の提供、幅広い世代が利用可能な施設の整備、最新の設備導入などを求める市民の声が多くあったためです。

問 総合運動公園整備に係る起債いわゆる借金の償還計画は。

答 総合運動公園の本格的な整備は令和8年度から始まり、令和9年度から起債の償還が始まります。総合体育館の建設は令和12年度からです。

問 資金の借入れによる償還が始まれば、市民の負担が増える。現在加西市は176億円の借金と、庁舎増築、統合小・中学校整備、新中学校建設、新病院、総合運動公園と大型事業が多いが、新たな借金の額と、市民一人当たりの借金の額は。

答 大型建設事業に際して新たに270億円を起債(借金)する予定としており、市民一人当たり(新たに)66万円となります。

問 財政収支見通しでは、令和6年度から歳入が歳出を下回って赤字となっている。しかし、行革改善額は増えており、これは市民サービスを減らして赤字補填

しているのではないかと。

答 歳出抑制を優先するあまり、市民サービスの低下を招くようなことがあってはならないと認識しています。

問 病院周辺の整備は未定だと聞いているが、その財源は。

答 新病院のアクセス道路として、県道からの進入部分や救急搬送専用の市道を整備します。費用は約3億円、9割は起債予定です。

要望 女性や子供、子育て世代、PTAの若い方々など多くの市民の声を聴いていただきたい。

■その他の質問事項

- ・本市における男女参画、女性活躍
- ・障がい児福祉
- ・若者や挑戦する人たちに選ばれる町を目指す